

2024（令和6）年度 事業報告書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日）

公益財団法人 大塚芳満記念財団

I. 事業の概要

1. 医学、歯学、薬学及び栄養学分野奨学援助事業

本事業は、徳島県の医学、歯学、薬学及び栄養学分野の更なる発展を願うため、勉学・研究等に励む有能なる大学生及び大学院生に対し、奨学援助を行い、徳島県の医学、歯学、薬学及び栄養学の更なる発展並びに国民福祉の向上に寄与し、社会有用な人材を育成することを目的として、本年度は定員25名のところ、28名に一人当たり50万円、奨学金総額1,400万円を支給した。

1) 奨学助成金の支給先

徳島大学	医学分野	6名（大学院生1名、学部生5名）
	歯学分野	4名（博士課程2名、学部生2名）
	薬学分野	4名（博士課程3名、学部生1名）
	栄養学分野	3名（博士課程2名、学部生1名）
徳島文理大学	薬学分野	5名（大学院生2名、学部生3名）
	栄養学分野	3名（学部生3名）
四国大学	栄養学分野	3名（学部生3名）

計 28名

2) 奨学助成金の1人当たりの支給額

1人当たりの奨学助成金は50万円とし、前期・後期に分け前期分は7月に25万円、後期分は10月に25万円をそれぞれ奨学受給者の銀行口座に振り込みにより支給した。なお、本奨学金は給付型であり返済は不要である。

2. 優秀スポーツ選手援助事業

本事業は、徳島県のスポーツ振興を図るため、徳島県内のスポーツ分野で活躍する高校生及び大学生に対しスポーツ奨励金を支給するもので、厳正なる審査の結果、本年度は5名に対し1人30万円の総額150万円を支給した。また7月開催のパリオリンピックに日本代表として出場決定した、大塚製薬の古賀友太選手には、50万円を支給した。

1) スポーツ奨励金（個人）の支給先

高校名	学年等	氏 名
城北高等学校	3年（ライフル射撃競技）	山田 音緒
城北高等学校	3年（ライフル射撃競技）	尾形 柁治
城西高等学校	2年（ライフル射撃競技）	板敷 心菜
生光学園高等学校	2年（ゴルフ競技）	武田 紘汰
徳島科学技術高等学校	3年（ウェイトリフティング）	大田 暖翔

2) スポーツ奨励金（オリンピック日本代表 20Km 競歩）の支給先

会社名等	氏 名
(株)大塚製薬工場 陸上競技部	古 賀 友 太

3. 高校生等奨学援助事業

昨年度に引き続き、「高校生等に対する奨学援助事業」を実施した。

選考は、当財団の選考委員会(理事・評議員)を開催、第一次選考（書類選考）と第二次選考（小論文、面接）の結果、成績を下に審議を行い、最終奨学金受給者33名を決定し、総支給額 1570万円を支給した。

1) 区分ごとの奨学金支給状況

＜区 分＞	＜最終受給者＞	＜1人当たり支給金額＞
大学進学援助	33名	50万円支給 29名 1450万円
〃		30万円支給 4名 120万円
		総支給 1570万円

2) 1人当たりの支給額

1人当たりの奨学金は30万円とし、10月に奨学受給者の銀行口座に振り込みにより支給した。加えて、大学進学援助受給者のうち大学に合格した者29名には、令和6年3月までに大学入学支度金として20万円を合格確認後随時、銀行口座振り込みにより支給した。なお、本奨学金は給付型であり返済は不要である。

4. 伝達式の開催

令和6年9月20日（金）10時から奨学金伝達式(表彰式)を開催し、「奨

学金・奨励金受給者選定の証」及び「記念品」を理事長から受給者66名に授与した。

5. 役員会等の開催

1) 理事会の開催

- ☐ 通常理事会 令和6年5月23日
- ①令和5年度収支計算書(案)/正味財産増減計算書(案)/貸借対照表(案)/財産目録(案)/収支計算書(案)の件
 - ②令和5年度事業報告書(案)の件
 - ③定時評議員会開催日時決定の件

- ☐ 臨時理事会 令和6年6月7日
- ①特定費用準備資金の件
 - ②その他(トロフィー選定・高校生奨学金分類の統一)
 - ③次回臨時理事会評議会開催の件

- ☐ 臨時理事会 令和6年9月20日
- ①令和7年度医学・歯学・薬学・栄養学奨学生等応募要項(案)の件
 - ②その他(高校生奨学援助の選考会報告・25周年講演講師の件)
 - ③令和5年度(2023年)奨学金受給者活動報告状況の件

- ☐ 臨時理事会 令和7年2月28日
- ①令和7年度公益財団法人大塚芳満記念財団奨学助成応募要項(高校生等対象事業)(案)の件
 - ②令和7年度事業計画書(案)の件
 - ③令和7年度収支予算書(案)の件

2) 評議員会の開催

- ☐ 定時評議員会 令和6年6月7日
- ①任期満了に伴う評議員選任の件
 - ②令和5年度収支計算書(案)・正味財産増減計算書(案)・同内訳表(案)・貸借対照表(案)・財産目録(案)の件
 - ③令和5年度事業報告書(案)の件
 - ④特定費用準備資金の件

⑤その他（トロフィー選定の件・高校生分類に対する変更の件）

□ 臨時評議員会

令和6年9月20日

- ①令和7年度医学・歯学・薬学・栄養学奨学生等応募要項（案）の件
- ②その他（高校生奨学援助の選考会報告・25周年講演講師の件）
- ③令和5年度（2023年）奨学金受給者活動報告状況の件

□ 臨時評議員会

令和7年3月3日

- ①令和7年度公益財団法人大塚芳満記念財団奨学助成応募要項（高校生等対象事業）（案）の件
- ②令和7年度事業計画書（案）の件
- ③令和7年度収支予算書（案）の件

10. その他

◇ 令和6年度医学・歯学・薬学・栄養学奨学金等

第二次選考委員会

令和6年6月 7日

◇ 令和6年度スポーツ奨励賞第二次選考委員会

令和6年6月 7日

◇ 令和6年度高校生奨学金第二次審査委員会

令和6年8月29日

○「内部統制システムの運用状況の概要」

以下に記載のとおりです。

1. 「理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の運用状況」

ア 内部統制の基本方針を策定し、全ての理事及び職員は法令及び定款に従い、必要な規則等を整備するとともに関連規則の遵守を宣言した。

イ コンプライアンス規程を定めるとともに理事及び職員に周知の徹底を図っている。

2. 理事の職務執行に係る情報の保存・管理に関する事項

理事の職務執行は定款及び諸規定に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は理事会議事録に記録され適切に保存・管理されている。

3. 業務の適性を確保するための体制の運用状況の概要

当該体制の運用状況が適切であるかどうかについても、監事監査の対象とし、第1に、監事監査の方法及びその内容を吟味し監査が行われた。第2に、監査の結果については、事業報告等の監査結果及び計算書類、財産

目録等の監査結果に分類され、それぞれ監査の結果が適正である旨、監査報告書に記載された。

○ 事業報告書附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。